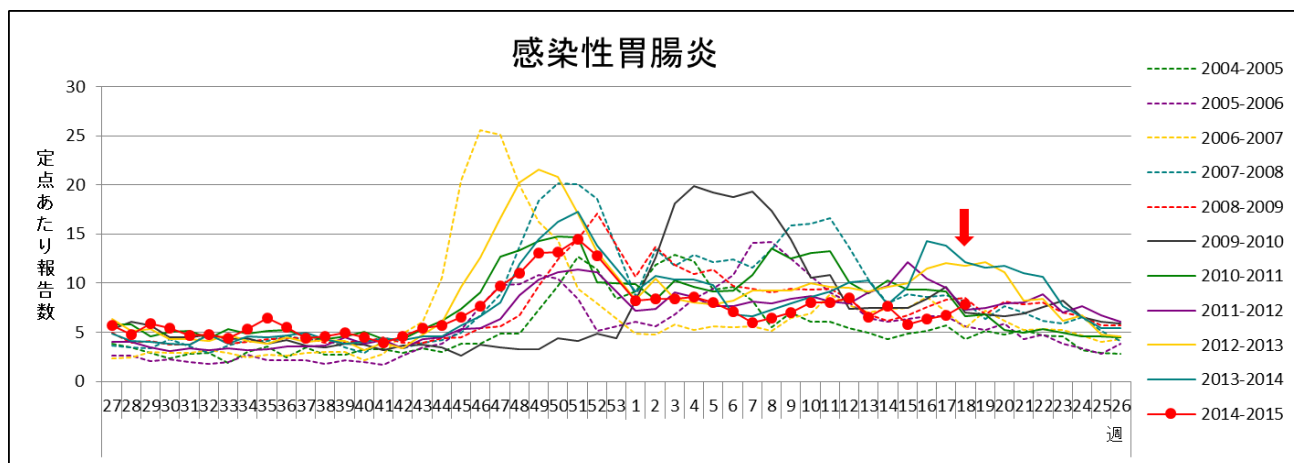


感染性胃腸炎週報 2015年 第18週 (4月27日～5月3日)

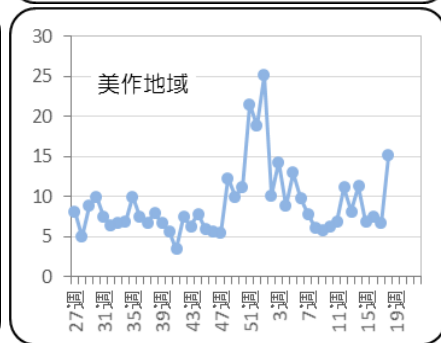
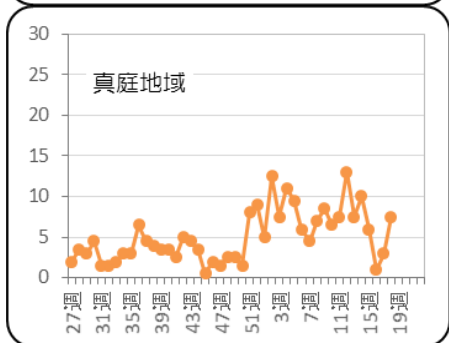
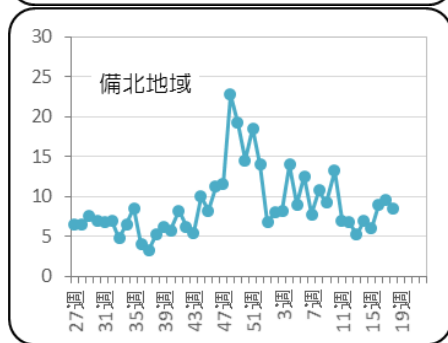
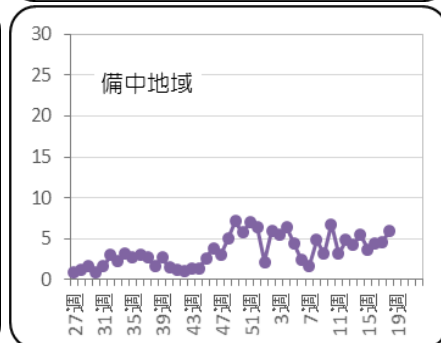
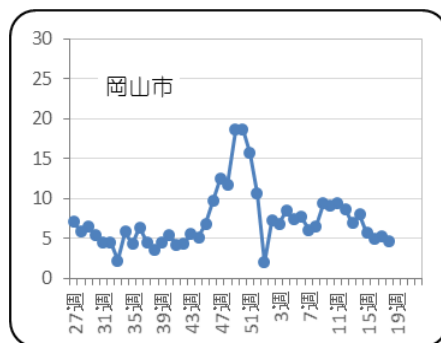
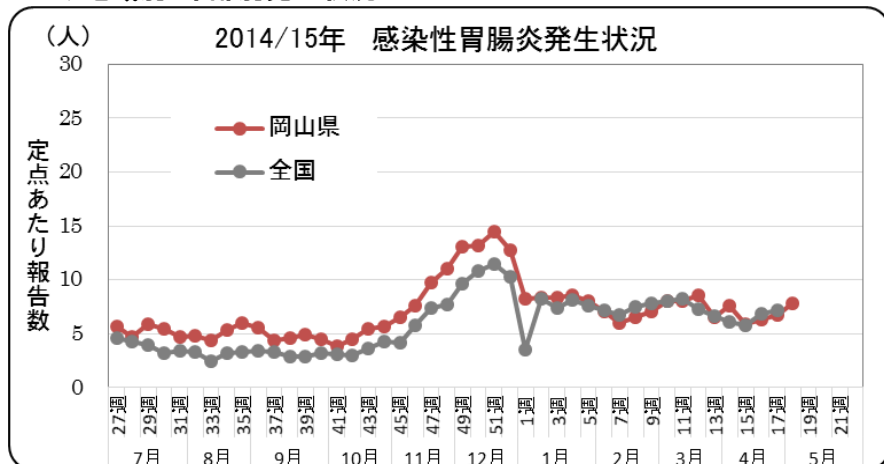
○感染性胃腸炎は、県全体で424名(定点あたり6.76→7.85人)の報告がありました(54定点医療機関報告)。



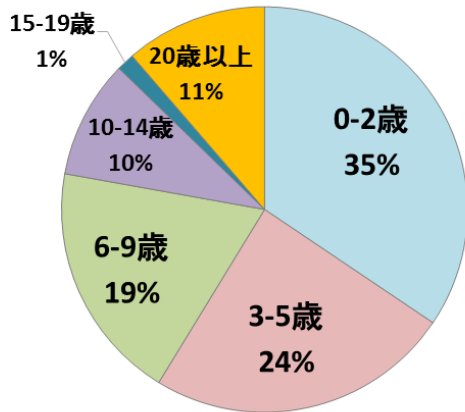
※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27週～翌年26週でグラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、県全体で424名(定点あたり6.76→7.85人)の報告があり、前週より増加しました。冬から春にかけての感染性胃腸炎の原因は、ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルスによるものが多く、幅広い年齢層での発生がみられます。排便後や調理・食事の前には石けんと流水で十分に手を洗う、下痢便・嘔吐物は適切に処理をするなど、感染予防と拡大防止に努めてください。

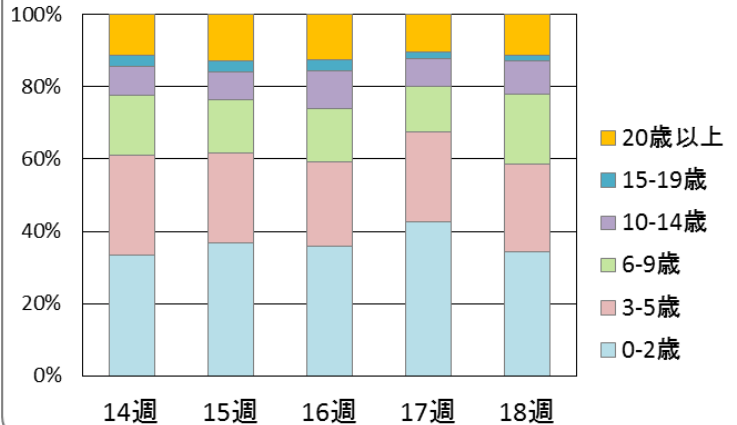
◆地域別・年齢別発生状況



感染性胃腸炎 第18週年齢別割合



岡山県 感染性胃腸炎 週別年齢別割合



地域別では、真庭地域（3.00 → 7.50 人）及び美作地域（6.67 → 15.17 人）で、定点あたり報告数が前週より大きく増加しました。美作地域（15.17 人）、倉敷市（9.82 人）、備北地域（8.50 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。年齢別割合では、6-9 歳及び 10-14 歳の小・中学生の年齢層で、前週より高くなっています。

例年 3～5 月には、0-2 歳の乳幼児を中心にロタウイルスによる胃腸炎が増加するとされています。主な症状は嘔吐と下痢で、ノロウイルスによる胃腸炎に比べ重症度が高いといわれています。嘔吐や下痢により脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

[IASR Vol.35 p.63-64: 2014 年 3 月号 ロタウイルス 2010～2013 年（国立感染症研究所）](#)

◎ウイルスによる感染性胃腸炎に注意しましょう。

- * 石けんと流水でしっかりと手を洗うなど、感染予防と拡大防止に努めましょう。
- * 患者の嘔吐物や下痢便を処理する際には、自分が感染しないように、使い捨ての上着やマスク、手袋を着用しましょう。
- * 塩素系漂白剤などを使った消毒も、併せて行いましょう。
- * 通常重症化することはありませんが、小さなお子さんや高齢の方は、嘔吐や下痢による脱水症状を起こすこともあります。体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

[ロタウイルスに関する Q&A（厚生労働省）](#)

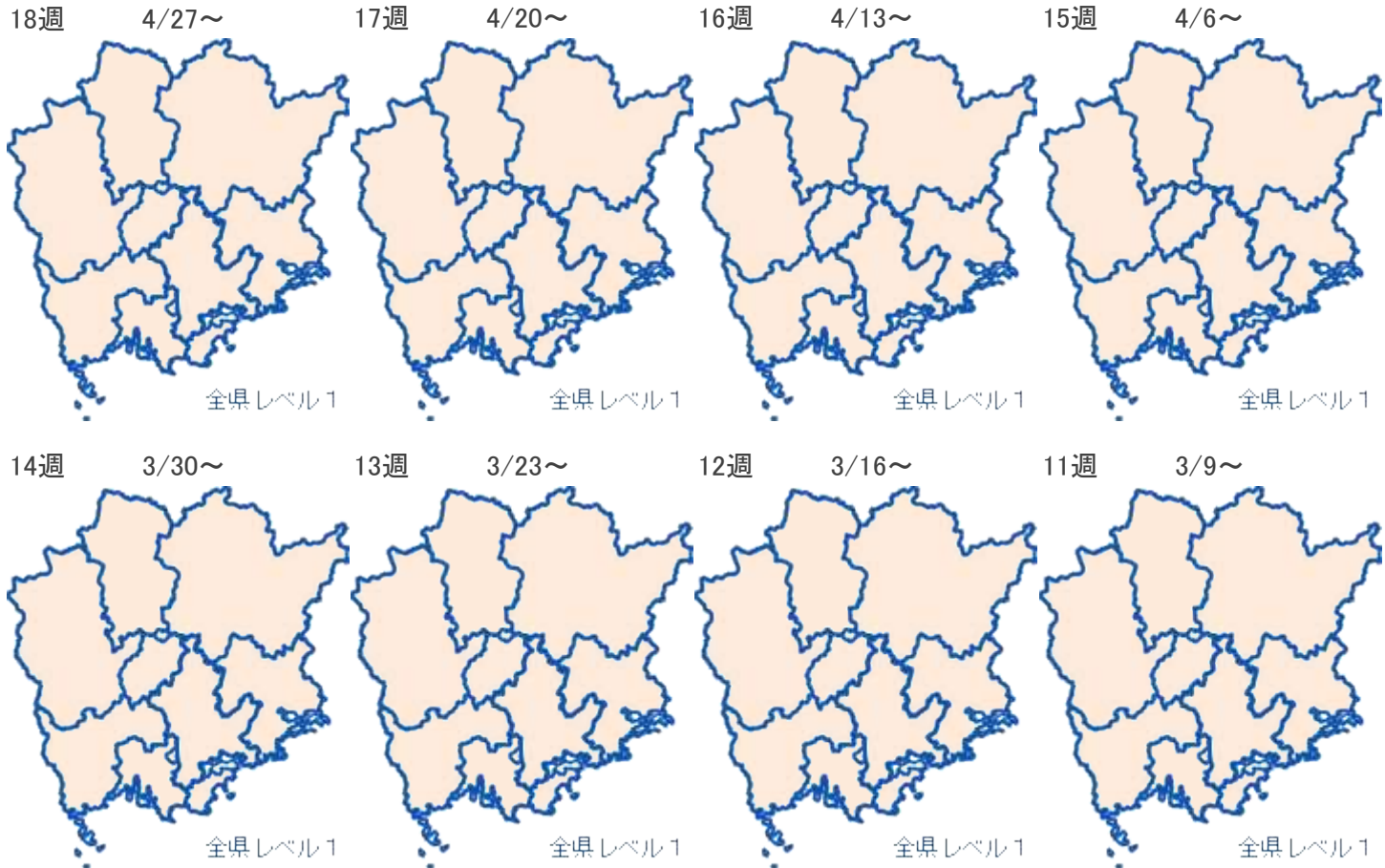
[ノロウイルスに関する Q&A（厚生労働省）](#)



岡山県地区別 感染性胃腸炎感染症マップ 2015年 18週

2015年5月8日

11:12:46



感染性胃腸炎

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
20	12		0 < 20 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。